

令和2年2月3日

各都道府県高体連ソフトテニス専門部 御中

(公財)全国高体連ソフトテニス専門部

部長 足立真一 (日本ソフトテニス連盟理事)

2020年京都福知山市インターハイ開催に向けてのクラウドファンディングのお願い

全国高体連 競技別クラウドファンディング HP より 抜粋

2020年京都インターハイ ソフトテニス競技への支援を！

公益財団法人 全国高等学校体育連盟ソフトテニス専門部です。毎年夏に開催される全国高等学校総合体育大会(インターハイ)を運営しています。昭和38年に第1回大会が開催されてからすでに半世紀が過ぎました。高校生アスリートにとって最高の舞台であるとともに、多くの国民の皆さんに勇気と希望、そして感動を与える国民的行事として成長してきました。インターハイは、全国47都道府県から6,000校以上、3万6千名余りの選手、監督・コーチが参加し、60万人以上の観客数を数える全国規模のスポーツイベントです。

インターハイは日本を東、中、西の3ブロックに分け、原則持ち回りで開催しています。2020年のインターハイは北関東4県と和歌山県開催がかねてより予定されていました。しかし、2013年9月に「東京オリンピック」開催が決まり、インターハイ選手や監督、大会役員ら約4万人の延べ20万泊分の宿泊場所が確保できないことが判明しました。

全30競技を中止せずいかに開催するか。2021年以降の開催地との入れ替えも模索しましたが難航し、検討の末に「全国分散開催」を判断、当初予定していた北関東4県では11競技、残りの19競技を全国に分散して開催することにいたしました。

開催地決定に向けて各地との交渉を重ね、やっとのことで昨年4月初めに、ソフトテニス競技の会場を京都府に引き受けていただくことになりました。

しかし、緊急例外的な大会となるため、例年のように開催地に対し経費負担をお願いすることができません。全国高体連で必要経費を確保することとなりましたが、経費が大幅に不足する事態となっています。

インターハイを目指し、日々真摯に取り組んでいる高校生アスリート、そして運営のお手伝いをしてくださる高校生補助員のために、少しでも充実した環境を整えるために、今回のクラウドファンディングに応募しました。今回のプロジェクトでは、みなさんからご支援をいただいて、大会会場での熱中症対策に利用させていただきます。毎年のことながら、会場では35度を超え、選手、補助員の熱中症対策が急務となっています。大会期間中、競技、運営に全力を捧げることができるように対策を充実させます。

公開 URL <https://readyfor.jp/projects/2020softtenniskoukousoutai>

いただいたご寄附の使い道

・コート周りのテント増設(日陰の確保) ・ミスト扇風機の設置